

「流山市役所新第2庁舎建設」に係る意見等について

	意見等	市の考え方	案の修正
1	<p>広範囲に市民本位の行政が着々と進められ御苦労に存じます。さて広報によりますと市役所新第2庁舎建設が進められているようです。ここで疑問があります。記載されている建設理由は建設後40年経ち耐震性が不足している緊急時の中心施設として建設する必要等と理解しました。</p> <p>そこで本当に建設が必要かどうかの説明が不足していませんか。本当に建設する必要があるかどうか。建設計画には新建設ありが前提ではなかったか。安価な補強ができないか（建替の風潮は終焉を迎えている）。緊急時用の施設は最小規模で軽量の建物で対応できないか等検討事項をもっと早くから広報し 行政と市民が一体性を育成。</p> <p>万一、建設することに市民の合意が得られた時、建設のニーズは何か明確にする。検討方策を明確にし結論に達した経過も報知が必要。また建設以外の防災や救援方策の現状を徹底報知、建設企画方針。職員や議員の削減を含み最小限の施設になっているかどうか。どのような施設にするか、施設に採用される機能や省エネルギー等維持管理費の削減等を明確にする必要があるでしょう。地震や耐震について未だ確立されているとは言えない現在の技術で入力地震予想 地震波予想 地形と地震波など検討し 既存の技術基準のみに頼って建設されるとすれば疑問である。予想されるインフレと税収の低下が見えてきた現在最少費用で流山市らしい配慮が必要でしょう。しかも詳細な広報は早めにし市民との一体化が必要でしょう。1円も無駄はしないは何をどのように実施されているのか不明で行政が率先して経費削減に努力願いたい。</p> <p>建替ありが前提ではそのための理由づくりが先行し市民が望む行政と隔離するでしょう。ましてや設計着手は早すぎると思う。</p>	<p>市役所庁舎は地震等の大きな災害が発生した際には、被災者の救出・支援や道路、建物等の復旧の拠点となる施設であり、早急に大きな地震にも耐えられる構造にすべきとして検討しました。</p> <p>第2庁舎の耐震診断を実施した結果、建物構造耐力指標 Is 値が低く、建物の重要度、緊急性を鑑み、現在の敷地内で第2庁舎を建て替えることが適切と判断しました。（Isとは建築物の地震に対する安全性を数値化したもので、この値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。）</p> <p>また、耐震補強することも検討いたしました。しかし、通路や事務室内に補強壁を随所に設ける必要性があり、通行に支障をきたすほか、事務室の分断により事務室としての機能が果たせなくなることが予想されます。さらに、補強工事を実施する場合、工事期間中は仮設庁舎の設置が必要となり、その費用はリース対応（2年間）で約2億8千万円の試算結果が出ています。</p> <p>このため、第2庁舎が建築から45年経過していることや補強工事に要する費用等を総合的に判断した結果、建替える方針としたものです。</p> <p>厳しい財政状況の中で、利用される市民の安全性を考慮した建物とするとともに、経費削減に努めていきたいと考えています。</p>	なし
2	<p>労働者の80%以上がストレスを抱えながら生活していると言われる今、メンタルなケアは必須であります。色には、人の心にエネルギーと癒しを与える力があります。手軽で副作用もなく、ダイレクトに心に響く色彩を、是非有効に使っていただきたく提案致します。</p> <p>モダンな建造物の多くは、無彩色（黒、灰、白）で覆われています。公共の場でもシンプルな便利さからか、コンクリートの灰と少しの茶が多く見られますが、心理的に灰色は、モチベーションを下げ、疲れを残しやすくします。鬱状態の心を加速させてしまうのです。清潔感から多用される白も、緊張感を与えます。昨今は、病院の壁や看護師さんの服にも淡い色が加えられていますが、それは白による血圧上昇のデータからの改善です。利用者の快適さだけでなく、そこで長時間を過ごす職員の心理的作用の面からも、温かみのある適度な彩色が必要です。</p> <p>一例ですが</p> <p>赤の効果：交感神経に作用し、血圧を上げ疲れている体に元気を与える色</p> <p>青の効果：副交感神経に作用し、血圧を下げ集中してリラックスさせる色</p> <p>緑の効果：身体と心を自然な状態に戻し、リラックスさせる色</p> <p>このように色彩は、色別に異なる効果を持っています。視細胞から脳へ送られる過程において、視床下部、下垂体、松果体に響き、ホルモン分泌や体温調節に影響を与えるのです。ロビー、会議</p>	<p>専門的な見地からの御提案ありがとうございます。色彩には様々な効力、効果があるという御指摘は実践的であり、庁舎建設の参考とさせていただきたいと思えます。案内における色別表示に関しましても、実施設計及び色彩計画、サイン計画において参考にさせて頂き、効率的な庁舎の実現を図りたいと思えます。</p> <p>なお、既に第1庁舎の各課の案内板は色分けし、かつ番号を付すなど、わかりやすい案内表示に努めています。また、庁内の若手職員で構成する行革プロジェクトチームからも、よりわかりやすく親しみやすい庁内案内について提案されていることから、これらも含めて新第2庁舎建設に反映させていきたいと考えております。</p>	なし

	<p>室、水周りと、その用途に応じ、ベーシックカラーをどのように設定し、どうアクセントを加えていくかで、大きく印象が変わります。</p> <p>色彩は、精神面への効力だけではなく、勿論機能的にも大きな力を発揮します。青字の「湯」という蛇口はでは、多くの人が火傷を負うことから分かるように、色は、形よりも訴える力が強いのです。人は何かを選択する際、情報の約87%を視覚からのそれに頼ると言われています。お年よりには読みにくい小さな文字も、まだ漢字の読めない幼い子も、日本語のわからない海外の方にも、色彩は便利です。このような点から、案内における識別の有効利用を提案致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合案内板の色別表示 ・ 案内板の色に基づいた床面案内 ・ 案内板の色に基づいた各部署の看板 ・ 案内板の色に基づいた書類 <p>各部署の色と統一による案内の徹底に伴い、より分かりやすい構内を目指します。たとえば職員のネームタグにも部署によるテーマカラーが表示されれば、分かりやすくなるでしょう。そして、高齢者が対象の場合は、色覚の点からも青（寒色系）は見分けが難しいので、赤、オレンジといった（暖色系）が適しています。</p> <p>デザインに凝るよりも色を的確に利用することは簡単で有効です。虹を見ると、誰もが幸せを感じるの、あの7色の力が働いているからです。是非、ご一考下さいませようお願い申し上げます。</p>		
	意見等	市の考え方	案の修正
3	<p>私は、平成10年に柏市から転入し、約10年間流山市に住んでおります。都心に近くて緑が多く、便利で美しい流山市に対する愛着が、年を経るごとに増してきております。仕事の関係上、県内の柏市、船橋市、木更津市のほか、立川市、静岡市、各務原市、境港市、入間市等以外の各市にも転勤し、その都度、転入届け等で市役所にお世話になってきました。</p> <p>これらの体験をもとに、とかくありがちな、地域性から生じてくる感情の弊害に囚われることなく、比較的、部外者の立場で、いくつかの意見を述べたいと思います。</p> <p>1 市役所は「市の顔」であること</p> <p>「つくばエクスプレス」が開通し、最近ようやく流山市の知名度が上がってきました。しかしながら、関東近県において、流山市がどの辺にあるかを知らない人が実に多いことに驚かされます。ちょっと信じがたい話ですが、以前住んでいた柏市でさえ流山市がどこにあるのか知らない人がおりました。この一因は、流山市に「顔」となるべきものが少ないからだと思います。将来的に流山市の人口の増加と発展が予測される現在、とても都庁までとはいませんが、市のシンボリックな「市の顔」となるような、新庁舎への全面的な建て替えが是非とも必要であると思います。これが実現すれば、流山市全体の活性化とともに、市民としての一体感の醸成や市に対する愛着心が沸いてくると思います。</p> <p>2 市役所の効率的な業務向上に必要なこと</p> <p>流山市の多くの庁舎の老朽化が進み、増築改築を繰り返しているような庁舎では、これを利用する市民の立場から、不便さを感じていることが多々発生しているであろうし、業務に携わる側でも関係部署等が適切に配置されていず、連絡調整も効率的に行われていないことが多いと思われま</p>	<p>流山市の公共施設は、建築から年数が経過したものが多く、市としては年次的に耐震診断を実施し、計画的に耐震改修工事に着手しております。</p> <p>市役所庁舎は地震等の大きな災害が発生した際には、被災者の救出・支援や道路、建物等の復旧の拠点となる施設であり、また、現在市役所庁舎を利用している市民の安全を確保するためにも早急に大きな地震にも耐えられる構造にすべきものと考えております。</p> <p>流山市の基本構想や都市計画マスタープランの策定の際には、市役所を中心として行政核ゾーンを位置づけ、行政機能については現庁舎の位置とされています。また、都市計画マスタープランでは、流山おおたかの森駅周辺は商業、業務、文化、行政機能を集積するものとされ相互の連携を高めていくものとされています。市内出張所については業務拡大を検討し、機能の充実を図り市民サービスの向上に寄与したいと考えます。</p> <p>また、市役所とともに、文化会館や図書館等の公共施設を一体化して整備すべきであるとの御指摘の点につきましては、用地・費用・跡地利用計画・関係機関との検討・調整等が必要で、それらに要する時間も長期になるものと推察されます。しかしながら、第2庁舎の耐震診断を実施した結果、建物構造耐力指標1s値が低く、建物の重要度、緊急性を鑑み、現在の敷地内で第2庁舎を建て替えることが適切と判断しました。(1sとは建築物の地震に対する安全性を数値化したもので、この値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。)</p> <p>なお、将来的には文化ホールや図書館などの市民が利用する文化施設については、流山おおたかの森駅近くの市有地の活用も考えてまいります。</p>	なし

	<p>す。</p> <p>また、最近では防災に対する対処の重要度が増し、その災害発生時には対応の拠点となるべき指揮所やヘリポート、さらに、情報通信等がしっかり整備された庁舎が必要となってきたと思います。</p> <p>これらの問題を解決するためには、前項で述べた市庁舎の全面的な建て替えとともに、組織改編も視野に入れた総合的な配置部署の見直しも必要であると思います。</p> <p>3 利便性が必要なこと</p> <p>現在の市役所の所在地は、流山市の外れにあり、多くの市民は車を利用しなければいくことができず、あまりにも不便さを感じています。これは市政に対する市民の無関心にもつながっていると思います。一昔前は、この地域に比較的に入人口が集中していたため、一定の人には便利であったかもしれませんが、「つくばエクスプレス」が開通し、将来の人口分布を見据えた場合、野田線と交差する（おおたかの森）付近にあるのが適当であると思います。今後の高齢化社会を考えた場合、流山市のほぼ中央に位置し、交通の便利などところにあるのが重要なことであると思います。</p> <p>4 行政と文化が一体化した新しい中心地が求められていること</p> <p>市役所とともに、文化会館や図書館等の公共施設を一体化して整備すべきであると思います。これにより、利便性が増すとともに、効率的な公共バスの運用が可能になると思います。因みに現在の中央図書館は交通の便が悪いばかりでなく、通じる道路が長い坂となっているため、老人や障害者の利用には不適となっていると思います。</p> <p>5 チャンスは今しかない</p> <p>かつて、常磐線を建設しようとした時期に、流山市は誘致に反対したため松戸市や柏市に比べ発展が遅滞しているという話をよく聞きます。長年の夢であった「つくばエクスプレス」がようやく開通し、流山市の今後の発展が期待されています。「おおたかの森」付近は、既にビルの建設予定が決まっているところがあるかもしれませんが、現在はまだ空き地が多く、用地確保の可能性があるのではないかと思われます。過去の失敗を繰り返すことなく、この時期にやらなかったら二度とチャンスは来ないと肝に銘じるべきです。多くの庁舎の老朽化が進み、建替え時期にきているということ千載一遇のチャンスと捉えるべきです。</p> <p>どこの市町村においても財政が厳しいことは十分承知しておりますが、長期的な視野に立ち、後世に苦恨を残さぬように真剣に検討することを熱望しております。</p>		
	意見等	市の考え方	案の修正
4	<p>現在日本中に仕事が無いので大手ゼネコンに仕事任せの方が良い。飛びつくと思う。地元とジョイントはやめて欲しい。ろくな仕事はできないと思う。それより今土木課。下水道課を水道局の会議室に入れたほうがいい暫定的に可哀そうだ。同じ職員なのに、おおたかの森支所は贅沢すぎる。冷房はガンガン効いて電気はコウコウ市役所では昼間節電しているのに。馬場議長に会った時にドアは開けて良いっていました。28度以下では冷房は入れないとのことでした。支所の男の偉い人は議長の名前もわからないと私に答えていました。職員は名札付けていないし男女均等法の世の中あの女子職員を土木下水道課などに回し現場にいかせる。(2,000万)かかっているそうでないですか。スポーツクラブに毎日通っていますが人がわずかしきいませぬ。おおたかの森下にプレハブ建てたほうがいい。安く上がる。場所も隅っこに有って約にたっていない。1回市長に会いたい。</p>	<p>工事の発注形式については、透明性、公平性を確保し、競争性を高めるため、他の工事と同様に一般競争入札により適切に対応してまいります。</p> <p>下水道関係課については、水道局への移転は考えておりません。</p>	なし

	意見等	市の考え方	案の修正
5	<p>第2庁舎新築案に反対します。新築でなく補強工事であればもう少し安く出来るのではないのでしょうか。健康は自分で守る様として検診もなくして庁舎の新築とは納得しかねます。市長をこよなく支持してましたのに残念の一言です。</p>	<p>第2庁舎の耐震診断を実施した結果、建物構造耐力指標Is値が低く、建物の重要度、緊急性を鑑み、現在の敷地内で第2庁舎を建て替えることが適切と判断しました。(Isとは建築物の地震に対する安全性を数値化したもので、この値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。)</p> <p>また、耐震補強することも検討いたしました。しかし、通路や事務室内に補強壁を随所に設ける必要性があり、通行に支障をきたすほか、事務室の分断により事務室としての機能が果たせなくなることが予想されます。さらに、補強工事を実施する場合、工事期間中は仮設庁舎の設置が必要となり、その費用はリース対応(2年間)で約2億8千万円の試算結果が出ています。</p> <p>このため、第2庁舎が建築から45年経過していることや補強工事に要する費用等を総合的に判断した結果、建替える方針としたものです。</p>	なし
6	<p>意見等</p> <p>新庁舎屋上に環境に配慮して緑化予定とありますが、さらにもう一歩進み、ソーラーパネルの設置を提案いたします。太陽光電池は自然エネルギーの中では、一番設備価格が安価で、エネルギー源としては無尽蔵です。温室効果ガス排出の削減にも有効です。一般の新築住宅の場合は200万円前後の価格です。当然必要電力の何%かを賄うことができ、経費節減にもなります。設置後のメンテナンス費用を考慮しても将来的にはプラスになるはずです。流山市は環境行政には熱意があると思います。他の自治体にさきがけて、このような取組みを検討してみてください。</p>	<p>市の考え方</p> <p>環境対策については様々な手法を検討し、予算内で実現できるものを採用していきたいと考えています。</p> <p>太陽光発電については、将来的に設置可能な仕様として建設を進めてまいります。</p>	なし
7	<p>意見等</p> <p>仮設庁舎の建設費用を削減するために、第1庁舎北側駐車場に建設するとのことですが、これにより既存第1庁舎と新第2庁舎は、主開口面同士が余りにも近接する関係となります。建築設計を職業とする私には、新第2庁舎の配置は仮設庁舎の配置図のように見えます。実際には、長期にわたって使用されていくはずの庁舎です。このような計画でよいのでしょうか？何年後に、この判断が誤りであったと後悔することにはならないのでしょうか？</p>	<p>市の考え方</p> <p>建設場所については、安全性、敷地の活用方法、仮設庁舎(2年リース費用約2億8千万円)を不要とすることによる経費節減等の観点を含め、様々な角度から検討を行ない現在の第1庁舎北側駐車場に建設位置を設定したものです。</p> <p>専門家の観点による御指摘の点については、庁舎機能及び設計条件を満たしながら、執務環境を確保するように工夫をしてまいります。</p>	なし
8	<p>意見等</p> <p>耐震工事は必要と思います。ですが、意見を言わせてください。</p> <p>増築を重ねると、庁舎同士の連絡通路が入り乱れるのではないのか不安があります。</p> <p>1階は1階、2階は2階、3階は3階・・・と1庁舎と2庁舎の行き来は、そのフロアで出来るようにしてほしいです。</p> <p>(バリアフリー)</p> <p>それと、流山市は住民票や各種手続の自動化を進めるべきだと思います。</p> <p>ニュースで話題の住みやすい町「三鷹」をご存知ですか？</p> <p>私は三鷹に40年近くずっと住んでいました。三鷹は若者にも人気の住みよいまちなので、人口は増えますが、市役所は30年間も増築など一切していません。駅前出張所の設置や、市役所に住民票・印鑑登録他の24時間自動交付機を設置し便利で住みやすい町でした。6月に更新のある、</p>	<p>市の考え方</p> <p>市役所庁舎は地震等の大きな災害が発生した際には、被災者の救出・支援や道路、建物等の復旧の拠点となる施設であり、早急に大きな地震にも耐えられる構造にすべきとして検討しました。</p> <p>第2庁舎の耐震診断を実施した結果、建物構造耐力指標Is値が低く、建物の重要度、緊急性を鑑み、現在の敷地内で第2庁舎を建て替えることが適切と判断しました。(Isとは建築物の地震に対する安全性を数値化したもので、この値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。)</p> <p>また、耐震補強することも検討いたしました。しかし、通路や事務室内に補強壁を随所に設ける必要性があり、通行に支障をきたすほか、事務室の分断により事務室としての機能が果たせなくなることが予想されます。さらに、補強工事を実施する場合、工事期間中は仮設庁舎の設置が必要となり、その費用はリース対応(2年間)で約2億8千万円の試算結果が出ています。</p> <p>このため、第2庁舎が建築から45年経過していることや補強工事に要する費用等を総合的に</p>	なし

<p>医療費更新の手続きも郵送で済むのは市役所に出向かなくて良いので、とても便利なシステムでした。とくに24時間自動交付機は平日休めない上、仕事が深夜までかかる、働き盛りの人々にはなくてはならない存在でした。</p> <p>これから人口が増えていくのを予想しての庁舎増築はあたりまえという考えはあらためて住みよい町のありかたを受け入れてはどうですか？流山はかなり遅れていると感じました。</p>	<p>判断した結果、建替える方針としたものです。</p> <p>新第2庁舎の配置計画は、第1庁舎との連携を含め利用者の動線を考慮した合理的なものとするため、1階、2階に市民サービス各課を、3階、4階は会議室等の配置を予定しております。そして、第1庁舎との接続は、1階が開放型の渡り廊下、2階が連絡通路を設け各フロア内の移動や各階への移動をしやすいものになりたいと考えています。</p> <p>なお、住民票や各種申請手続きについては、インターネットを活用した電子申請が今年8月1日から利用可能となりました。</p> <p>また、おおたかの森ショッピングセンター内3階のおおたかの森出張所では、業務時間を平日午前8時30分から午後7時、土曜日（祝日の場合除く）午前8時30分から午後5時までとし、平日の昼間仕事等で出張所を利用できない多くの市民の方々にご利用いただいております。</p> <p>今後も市民サービス向上を図りながら、住みよい町のありかたを研究してまいります。</p>	
---	--	--